# 福臨技筑豊地区 ～新春講演会～

令和５年１月 19 日（木）

**筑豊地区主催新春講演会を開催**

例年でありますと年始の筑豊臨床検査発表会の際に特別講演を行ってきましたが、集合開催が難しい状況でもあり今回は新春講演会、臨床検査発表会とを分けて開催することとなりました。

今年の新春講演会は飯塚病院循環器内科医長 大賀泰寛医師をお招きし、「TAVI・MitraClip 等について」ご講演頂きました。大賀医師におかれましては、非常にご多忙な業務の中ではありますが快く講師を引き受けて頂きました。

Zoom による web 参加者と地区役員・講師合計 41 名と多数のご参加ありがとうございました。

講演会内容

[1] 開会挨拶 浦園地区長（飯塚病院）

[2] 座長挨拶 山本俊輔（くらて病院）

[3] 企画講演：TAVI・MitraClip 等について
大賀泰寛先生（飯塚病院 循環器内科医長）

[4] 質疑応答

[5] 閉会挨拶 山本俊輔（くらて病院）

**大賀先生（写真中央）と筑豊地区役員**

**講演会の様子**

左から大賀泰寛先生（飯塚病院）、浦園地区長（飯塚病院）、山本俊輔 座長（くらて病院）

**講演会の様子**

## 参加者の声 ～回答ありがとうございました～

・評価方法や先生方が重視するポイント、術式を勉強できたのでよい機会でした。TAVI,MitraClip 後の症例は今後増えてくると思われるので、ガイドラインなどあわせて今後も勉強しなければならないと思いました。

・TAVI 適応には年齢だけでなく弁の形状も関係することを知り、またその後のエコーでのフォローの際は EOA の測定方法など過小評価をしないための注意点を学びました。

・当院では、TAVI や MitraClip は行ってませんが、術後のフォローをする事も度々ありますので今回の研修会はとても勉強になりました。MV に関しても MS はあまり考えなくて良いってのはとても納得しました。ありがとうございました。

・大動脈弁狭窄症に対しての TAVI と僧帽弁閉鎖不全症に対する MitraClip は、開胸や体外循環を行う必要がないため、外科的人工弁置換術ができなかったご高齢の方やハイリスクの方などどの方でも低侵襲でできることを知りました。
また、TAVI 、MitraClip を行う際にはハートチームが必要不可欠で、循環器内科医を中心に様々な分野の医療従事者がチームをなして治療を行うことを知ることができました。

・TAVI・MitraClip 等についての講演を聞き、沢山学ぶことがありました。また TAVI・MitraClip だけではなく弁置換の術後でもエコーで詳細な評価を心がけて行かなければいけないこともわかりました。今回の講義であったように術前での心エコー評価では過大評価や過小評価になる方法なども学べて、より注意深く計測法を確認したいと思いました。

## 反省と課題

講演中に Zoom 参加者の音声が入ってしまうことがありました。
今後は講演中はミュートして頂くよう事前にアナウンス致します。